



NPO法人留萌体育協会 伊藤 知史さん

仲間とのふれあいを弾みにマチに活力を！

スポーツを楽しむ市民が増え、その仲間とのふれあいを弾みにマチの活力が生まれることを願っています。体育協会の職員として「遊び」や「健康づくり」などスポーツを体験するきっかけづくりのプランを作成し、参加を呼びかけていきたいと思っています。



英会話教師 佐藤 アレーナさん

ルーツとアイデンティティを誇りに！

「地域特有の知恵」に関心を持ち、「世界の普遍的な知恵」を取り入れ、「自分たちの知恵」にルーツとアイデンティティを持っていることを誇りにできる「まち」になってほしい。人の話を聞き、体験し、どちらの知恵も大切であることを次の世代に行動で伝えたい。



留萌高齢者事業団 亀谷 博悦さん

子どもたちが楽しめる留萌独自の観光施設を！

留萌の観光施設が充実してほしい。外から来る観光客だけでなく、留萌の子どもたちも楽しめる留萌独自の観光施設がほしい。観光客を出迎えるために、除雪や草刈など、今の仕事のノウハウを活かして、まちをキレイにしていきたい。



留萌市立病院看護師 池田 桂子さん

春夏秋冬を通して飽きのないまちに！

海あり、山ありのまちを活かして、春夏秋冬を通して飽きのないまちになってほしい。単純に娯楽施設をつくるだけでなく、食・レジャー・文化など、毎日が楽しいまちに発展して欲しい。そうなるように、日々努力していきたい。



サーフィン&スノーボードショップ店長 佐藤 基さん

留萌をアクションスポーツシティに！

留萌が日本で最も有名なアクションスポーツシティになってほしい。店を訪れる若者とチカラを合わせて、スノーボードパークやスケートボードパークを作っていきたい。また、サーフィンの指導などもしていきたい。



映画ファンクラブ 島田 麻貴さん

お金が一番という価値観を変えたい！

港の石造りの倉庫を、小さな劇場にして、ライブや映画、演劇を上演したり、FMラジオ局を市民が運営するの。そのためには、お金が一番という価値観を少しずつ変えて「たまにはライブや映画もいいね！」という雰囲気づくりを進めたいですね。



ゆめを実現するために
こんなことしたい！

新春企画

留萌びとの

ゆめみる留萌びと 17名が留萌の未来を熱く語る。
あなたには、どんなゆめがありますか？



緑丘小学校5年生 岩崎 美樹佳さん

ハリーポッターランドをつかって欲しい！

まちを明るくするために、まず観光客を呼び集める。そのために、ハリーポッターランドやディズニースノー、海底キャンプ場などをつかって欲しい。南や海のない所に住んでいる人々を呼ぶ企画をつかって欲しい。私は、この夢を持ち続け、努力していきたい。



留萌青年会議所副理事長 中村 晴竹さん

どこにもない「すばらしい田舎」をめざす！

海と港を活用し繁栄させること。そして、どこにもない「すばらしい田舎」をめざしてビジョンを描く。そのために、20～40歳ぐらいを対象に、未来のビジョンを考える場を作りたい。我が子のためなら、もっといい意見が出てくるでしょう。



留萌支庁勤務 吉田 梨乃さん

人の心に残るようなまちになってほしい！

「あそこに行くとき、留萌を通ったよね」と、直接足を止めなかった人の心にも残るようなまちになってほしい。留萌の恵まれた自然は、それだけで人の心を惹きつけることができます。その自然が一層輝くよう、海や山でのごみ拾いなどをして協力したい。

留萌びとにアンケート！ わたしたち、こんな「ゆめ」をもってます！

2003年、あけましておめでとうございます。
突然ですが、皆さんは最近、ゆめを見ましたか？
寝ているときにみる「ゆめ」、未来に向かってみる「ゆめ」…
私たちが人間は、いろんな場面で様々な「ゆめ」をみています。
今回の新春企画は、「ゆめ」にスポットを当ててみました。
この厳しい時代に、留萌びとはどんなゆめや希望をもって、
未来に向かい前進しているのでしょうか？
17名の留萌びとに、まちへのゆめや希望をうかがいました。



フリーター 和田 大生さん

もっとにぎやかで楽しめる繁華街を！

カラオケやショッピングができる、もっとにぎやかで若い人たちが楽しめる繁華街をもうひとつつってほしい。働きながら、自分がまちのためにできることを見つけて、まちづくりに協力、参加していきたい。



コーラスローズシェーン 中西 フミエさん

多くの人が明るく元気に過ごせるまちに！

ひとりでも多くの人が明るく元気で過ごすことのできるまちになることを望みます。コーラスの仲間40名と共に声を出すことにより健康を保ち、まちのことに興味をもちながら、自分のできる事があれば協力をしていきたい。



緑丘小学校5年生 寺西 翔亮さん

大人になるまでに景気が回復してほしい！

留萌の人口が年々減り、不況のようだが、僕たちが大人になるまでに景気を回復させるために働く場所を増やすとか、留萌人が留萌を好きになるためにレジャー施設やデパートを建設してほしい。その時は、留萌を全国的にPRして観光客を呼ぶ手助けをしたい。



アトリエ深樹 オーナー 安達 涼子さん

年をとっても安心して住めるまちに！

他の街とくらべるのではなく、年をとっても安心して住めるまちであって欲しい。皆が元気だと、まちも元気になっていくと思う。そのために、じっと家にいるのではなく、社会性を持ち、人と知り合い、協力し合い、色々な事に関心を持って生活したい。

ゆめ 未来みるチカラ